

柳田国男 現代に生きる思考

鶴見太郎・小田富英・室井康成[編]

柳田学の現代的意義を考える——

「生活」を基盤とし、自らが見聞きしたもの、経験したものを基に紡がれた、柳田国男の思考は、いまを生きる私たちに、様々なインスピレーションを与え、また様々な思考をうながす。生誕から 150 年、没後から 63 年を経てもなお更新されていく柳田学の現代性《アクチュアリティ》を、「実践」「アジア」「言葉とコミュニケーション」の3つの視点から読み解く。



価格: 本体 2,800 円 + 税
A5判・並製・カバー装・240頁・2026年1月刊行
ISBN978-4-911029-26-8 C1039

- はじめに 新しく石を置く 鶴見太郎
序章 変化に対する姿勢 黒川 創
- I 実践の現場から
第一章 丘としての柳田国男 笠井賢紀
第二章 柳田国男を読みながら、遠州の民俗を記録する
——後藤総一郎と遠州常民文化談話会 中山正典
- II 鏡としてのアジア
第三章 柳田国男と竹内好 田澤晴子
第四章 柳田国男と北海道
——日本民俗学における“属地直系主義”に関連して 室井康成
- III 言葉とコミュニケーション
第五章 「言葉あわせの術」と「まあいい言葉」
——柳田学におけるコミュニケーション論的研究の一視点 小田富英
第六章 『明治大正史世相篇』の実験 佐藤健二

メール、FAX、お電話にて書籍のご注文を承ります。
本書持参のうえ、書店でのご予約も可能です。

FAX: **047-413-0625**

| | | |
|--|--|--|
| お名前 ご住所 お電話番号 ※公費 必要書類(必要な書類に○を付けてください) 見積・納品・請求 書類お宛名 日付 あり・なし | 注文数 冊 | 柳田国男 現代に生きる思考 鶴見太郎・小田富英・室井康成 編 本体 2,800 円(+税) A5判・並製・240頁・ISBN978-4-911029-26-8 C1039 |
|--|--|--|